

所 属 株式会社小泉川養魚場
氏 名 やぎ けんじ
矢木 健二 (47歳)
漁業種類 サケ・マス類の養殖



～養魚場を支える心優しきナイスガイ～

日焼けとタンクトップがよく似合う矢木さんは、岡山から移住してきた I ターン漁業者である。長年溪流釣りを嗜んでおり、以前からたびたび小泉川養魚場を訪れていたそう。そのため、建築の仕事から漁業の世界へ足を踏み入れたのは自然の流れだったようだ。

養魚場では主に幼魚の飼育を担当している矢木さん。苦勞する点を尋ねると、「餌やりの量が難しい」と一言。多過ぎると調子を崩し、少ないと痩せ細る。矢木さんは多くの魚を抱える養魚場の土台を支える重要なポジションだ。そのため、勤務6年目になるが、技術の向上に精を出す日々である。その反面、想定した仕上がりになれば喜びもひとしおと顔をほころばせる。

口数は多くないが、親しみやすく人を惹きつける矢木さんは養魚場のムードメーカー。バイクをこよなく愛し、倉庫で眠る愛機 GSX に跨ると、弾ける笑顔で撮影に応じてくださった。その優しい人柄が小泉川養魚場を語るうえで欠かせない1ピースなのは、誰の目から見ても、明らかだ。

～俺んどこ こないか？～

クルマ、バイク、釣り…と多趣味の矢木さん。特にアウトドアの知識には驚くばかりで、獣の解体はお手の物、さらには燻製まで振る舞うそう。休日はドライブして出先で手作りの料理を…そんなプランが浮かぶ。将来の目標について「嫁が欲しい」と話す、矢木さんならきっとすぐ素敵なお嫁さんができるはずだ。

(文責：徳安 理敬)